

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス鴨居ルーム		
○保護者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援や療育の質の高さ	専門職としての知識やスキル獲得のための研修に参加 児童についての保護者からの質問に職員が全員が回答出来る 情報共有や意見を出しやすい職場環境 保護者・児童目線や本位の取り組み 職員と保護者・児童との関係性の良さ	職員一人一人が専門職としてのスキルアップと経験を重ねる 事業所内の透明性と高める 地域に門戸を広げていく
2	利用児童が「行きたい」と思ってくれている	意思決定支援を中心とし、押しつけの活動はしていない 余暇活動のスキル獲得を目指している 利用児童ごとに対応した活動の提供 児童の「居場所」として環境を整えている	年齢や学年に応じた活動の提供 デジタル関係の活動や使い方の習得支援 外活動の充実
3	保護者からの信頼が篤い	支援者本位ではなく、児童・保護者本位であること 困ったことに直ぐに対応する 出来ない対応ではなく「これなら出来る」対応 児童の想いや考えを叶えている 保護者の負担になることは、事業所として対応をしている	関係機関との連携 デイ以外の児童の状況に応じた活動場所の提案 ペアレントトレーニングやピアサポート

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化されていない	事業所の構造上、建屋内部の改変は難しい	事故や怪我がない様に、危険な箇所には目立つ色をつけたり、職員に周知徹底と管理・見守りをしていく
2	保護者会や事業所の情報発信等が無い	発信ツールとして会社のHPで発信しているが、事業所としての周知が足りないことが要因 事業所単位としての発信が足りない部分がある 保護者会の設置については、現状考えてはいない	毎月保護者に配布する集団プログラム表に盛り込んで改善をしていく 保護者会に代るものとして「保護者同士のピアサポート支援(家族支援)」などの開催が可能か検討していきたい
3	地域交流の機会が無い	地域交流の情報収集不足が原因と考えられる	地域交流として、参加や見学が可能なものがあれば参加していけるよう、前向きに検討していきたい